

# 目 次

まえがき

1	沿革	1
2	組織及び事務分掌	2
(1)	組織	2
(2)	職種別職員数	2
(3)	事務分掌	3
3	平成26年度の県内の健康危機管理状況と衛生研究所の動き	4
4	業務報告	6
(1)	総務担当	6
(2)	企画・産学連携担当	6
(3)	地域保健・支援担当	7
(4)	精度管理担当	7
(5)	感染症疫学情報担当	8
(6)	臨床微生物担当	10
(7)	ウイルス担当	11
(8)	食品微生物担当	13
(9)	生体影響担当	15
(10)	薬品担当	17
(11)	水・食品担当	18
5	研修業務等	20
(1)	衛生研究所セミナー	20
(2)	当所主催研修	20
(3)	当所から講師を派遣した研修	21
1)	学会・研究会等	21
2)	本庁課室	21
3)	地域機関	22
4)	その他の機関	23
(4)	研修生の受入れ	23
(5)	施設公開・普及啓発	24
1)	視察・見学	24
2)	講演会・研修会	24

6	研究事業報告	25
	(1) 埼玉県における健康寿命・健康割合の推移と地域分布に関連する要因の検討	25
	(2) リアルタイムPCR法による食中毒原因菌の一斉迅速検出に関する検討	26
	(3) 食中毒の原因となるきのこ毒の分析法の開発	27
	(4) 疫学情報によるdiffuse outbreak迅速検出に関する研究	28
	(5) インフルエンザウイルス薬剤耐性調査	29
7	調査研究	31
	(1) 埼玉県におけるInterferon-Gamma Release Assays (IGRA) 検査の実施状況及び結果の検討(2014年)	31
	(2) 埼玉県の公衆浴場等におけるレジオネラ属菌の検出状況及び培養法とLAMP法の比較検討	37
8	資料	41
	(1) 感染症発生动向調査情報に基づく埼玉県の患者発生状況－2014年－	41
	(2) 埼玉県内で分離されたヒト由来サルモネラの血清型と薬剤感受性(2014)	53
	(3) 埼玉県の腸管系病原菌検出状況(2014)	55
	(4) 埼玉県における性器クラミジア抗体検査の状況(平成26年度)	57
	(5) 埼玉県における梅毒血清抗体検査の状況(平成26年度)	59
	(6) 感染症流行予測調査(平成26年度)	62
	(7) 感染症発生动向調査におけるウイルス検出状況(2014年度)	64
	(8) 食品の微生物学的検査における精度管理試料の検討	69
	(9) 流通食品(水産加工食品)の放射能調査	72
	(10) 埼玉県における環境放射能水準調査(平成25年度)	74
	(11) 流通食品の放射能行政検査(平成26年度)	78
	(12) 埼玉県内の自然公園における蚊の発生状況(2014)	80
	(13) 埼玉県における日本海産魚介類の放射能調査(2008～2014年度)	83
9	紹介(雑誌等)	87
	(1) 焼肉調理における腸管出血性大腸菌の生残の解析	87
	(2) 器具・容器包装におけるカドミウムおよび鉛溶出試験の試験室間共同試験	87
	(3) Putative Epimutagens in Maternal Peripheral and Cord Blood Samples Identified Using Human Induced Pluripotent Stem Cells	87
	(4) 合成樹脂製器具・容器包装におけるカドミウムおよび鉛材質試験の試験室間共同試験	88
	(5) 異臭苦情食品から検出されたトランス-1,3-ペンタジエン発生要因の検討	88
10	紹介(口演等)	89
	(1) 埼玉県の市町村における血圧の状況	89
	(2) 運動習慣と脂質異常症の関連について	89
	(3) 発症時期の異なる川崎病患者の疫学的特徴	89
	(4) 感染症情報センター研修会参加者アンケートの文字解析の試み	90
	(5) 平成26年度埼玉県予防接種調査の結果について	90
	(6) 平成26年度埼玉県予防接種調査の結果について	90

(7) 埼玉県内のイヌ、ネコにおける <i>Coxiella</i> 属および <i>Rickettsia</i> 属に対する血清抗体価—第3報—	90
(8) ハクビシンとアライグマから検出されたクリプトスポリジウムの分子疫学的解析	91
(9) 埼玉県の公衆浴場等におけるレジオネラ属菌検出状況（平成20-24年度）及び培養法と迅速検査（LAMP）法による検出結果の比較検討	91
(10) 結核菌インターフェロノン遊離試験の実施状況（2014年）と結果の検討	92
(11) 結核菌インターフェロノン遊離試験（IGRA）の実施状況（2014年）と結果の検討	92
(12) 埼玉県で検出されたD種アデノウイルス株の型別方法の検討	93
(13) 食品における腸管出血性大腸菌026, 0103, 0111, 0121, 0145および0157試験法の コラボレイティブスタディ	93
(14) 食品における0抗原遺伝子検出法の検出感度の検討	93
(15) The Detection Method of Top 6 Serogroups STEC in Food in Japan	94
(16) 食品における志賀毒素遺伝子の検出感度の検討	94
(17) リアルタイムPCRによる糞便からの食中毒菌迅速スクリーニング法の検討	94
(18) 保育園で発生した腸管出血性大腸菌0157による食中毒事例	95
(19) 埼玉県内で発生した <i>Kudoa septempunctata</i> 食中毒事例及び市販鮮魚における <i>Kudoa</i> 属寄生状況調査	95
(20) 国内各地における食事由来の内部被ばく線量	95
(21) 埼玉県内のモデル生態系における各種試料中の放射能	96
(22) セミ及びザリガニの環境放射線モニタリングにおける指標生物としての有効性の検討	96
(23) 流通食品（水産加工食品）の放射能調査	97
(24) 事業所および住宅における室内空气中化学汚染物質の実態調査	97
(25) 流通食品の放射能行政検査（平成26年度）	97
(26) 埼玉県の感染症媒介蚊の発生状況について（平成26年度）	98
(27) 過去10年間の埼玉県産農作物の放射能調査について	98
(28) 荒川における河川水、底質、野草の放射能調査について	98
(29) 埼玉県内における流通こんにゃく製品の放射能調査	99
(30) 埼玉県における流通食品の放射能検査について	99
(31) 応答曲面法を用いたHPLCの分析条件の最適化について	99
(32) 頑健性を考慮したHPLCの分析条件の最適化について	99
(33) 平成25年度に実施した違法ドラッグの検査で確認された化学物質について	100
(34) 先発製剤と溶出挙動の類似性が認められなかった後発製剤事例	100
(35) 埼玉県の危険ドラッグ撲滅に向けた取締りについて	100
(36) 組換えDNAセグメントを用いた加工食品中のGM体スクリーニング方法の検討	101
(37) LC-MS/MSによる農産物及び畜水産物中のイプフェンカルバゾン分析法の開発	101
(38) 食品苦情の理化学検査の状況について	102
11 平成27年度えいけんプラン	103
12 埼玉県衛生研究所投稿規定（平成23年5月17日改訂）	131